

Q&A

血便を主訴に来院した中年女性

【問題】

症例：60歳代，女性。

主訴：血便。

既往歴：15歳時に卵巣嚢腫に対して片側付属器切除術を受けている。

現病歴：受診3カ月前より血便を自覚し，徐々に回数が多くなった。便自体は有形であり，下痢や腹痛はなかった。貧血に対して近医で鉄剤の点滴治療を受けていた。

来院時現症：意識清明，身長150cm，体重70kg，血圧140/74mmHg，脈拍96回/分，整，体温36.3℃。

血液検査所見：WBC 4800/ μ l，RBC 363万/ μ l，

Hb 8.2g/dl，Ht 27.1%，Plt 24.4万/ μ l，TP 6.9g/dl，Alb 4.0g/dl，BUN 14mg/dl，Cr 0.60mg/dl，T-Bil 0.49mg/dl，AST 14IU/l，ALT 8IU/l，LDH 147IU/l，ALP 155IU/l。

大腸内視鏡所見 (Figure 1) と横行結腸のポリープ (Figure 1b, c) の病理所見 (Figure 2) を示す。

1. 考えられる疾患は何か？
2. 今後の治療方針は？

解答は (844p) に掲載

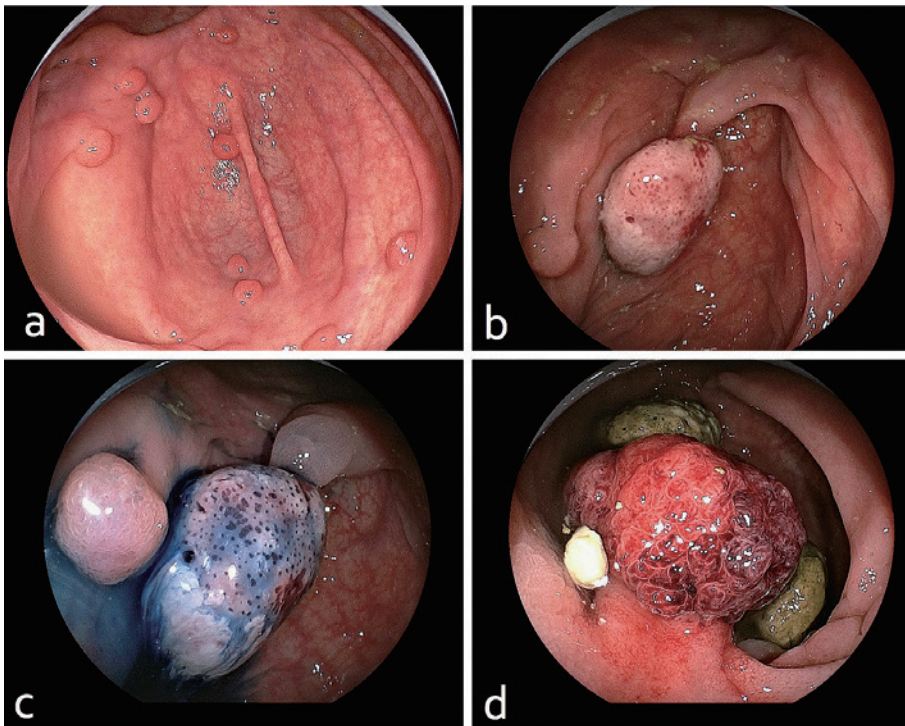


Figure 1. 大腸内視鏡所見 a. 盲腸, b. 横行結腸, c. 横行結腸 (インジゴカルミン散布), d. 直腸。

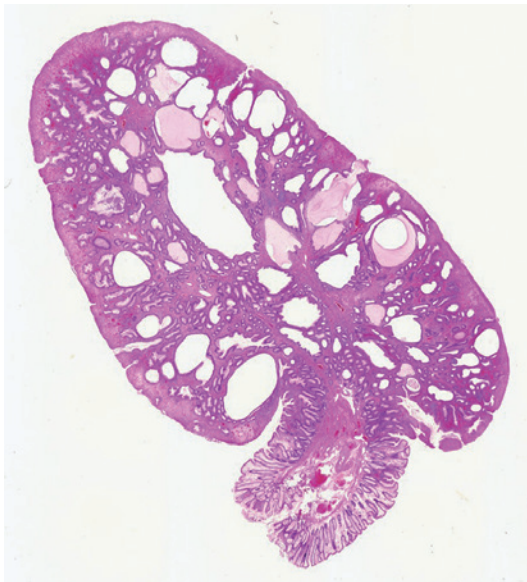


Figure 2. 横行結腸のポリープの病理像.